

対象校No. 840

注4

学校コード F127310107938

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人桃山学院  
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学統括部学長室
職名・氏名	カチヨホ サ モリシタ タカシ 課長補佐・森下 貴史
電話番号	0725-92-7061 (内線: 6025)
(夜間)	0725-92-7061 (内線: 6025)
e-mail	gaku-ji@andrew.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「 大学大学院 ……」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 大学 学部 学科

(旧名称: 学科(平成 年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合: 「 大学」
- ・学部の設置の場合: 「 大学 学部」
- ・学部の学科の設置の場合: 「 大学 学部 学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合: 「 短期大学 学科」
- ・大学院設置の場合: 「 大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合: 「 大学大学院 研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「 大学大学院 研究科 専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合: 「 大学 学部 学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、  
当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、  
該当番号を記載してください。

# 目次

## ビジネスデザイン学部

< ビジネスデザイン学科 >	ページ
1 . 調査対象大学等の概要等 . . . . .	4
2 . 授業科目の概要 . . . . .	8
3 . 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	2 4
4 . 既設大学等の状況 . . . . .	2 5
5 . 教員組織の状況 . . . . .	2 6
6 . 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	4 3
7 . その他全般的事項 . . . . .	4 4

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人桃山学院

## (2) 大学名

桃山学院大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒545-0011

大阪府大阪市阿倍野区昭和町3-1-57

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	イデタ ゼンソウ 出田 善蔵 (平成28年5月)		
学長	マキノ ニナコ 牧野 丹奈子 (平成28年5月)	ナカノ ミツヒコ 中野 瑞彦 (令和4年4月)	任期満了のため変更、令和4年4月1日(4)
学部長	キクチ マサヤ 菊地 昌弥 (令和3年4月)	ハマシマ アツヒロ 濱島 敦博 (令和6年4月)	任期満了のため変更、令和6年4月1日(6)
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 (5)

令和6年度に報告する内容 (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 学士(ビジネスデザイン)	経済学関係	4年	200人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	800人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和 年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	200人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]										
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1623 ( ) [ ]	( ) [ ]	899 ( ) [ ]	( ) [ ]	769 ( ) [ ]	( ) [ ]	1121 ( ) [ ]	( ) [ ]				
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1566 ( ) [ ]	( ) [ ]	872 ( ) [ ]	( ) [ ]	749 ( ) [ ]	( ) [ ]	1015 ( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	975 ( ) [ ]	( ) [ ]	763 ( ) [ ]	( ) [ ]	655 ( ) [ ]	( ) [ ]	798 ( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	221 ( ) [ ]	( ) [ ]	202 ( ) [ ]	( ) [ ]	173 ( ) [ ]	( ) [ ]	217 ( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.1	-	1.01	-	0.86	-	1.08	-		0.99倍		倍

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。  
 ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分」に「1」を「春季入学以外の学期区分」を設ける予定」を選択してください。  
 ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択)  
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)」33収容定員の充足状況をご確認ください。  
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・ 「(5) - 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期									
1年次	-	-	-	-	221	-	202	-	173	-	217	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	71	-	221	-	197	-	167	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					74	-	70	-	214	-	191	-	
					[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
					( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次							74	-	77	-	220	-	
							[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
							( - )	( - )	( - )	( - )	( 11 )	( - )	
計	-	-	-	-	366	-	567	-	661	-	795	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 1 ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( 7 )	( - )	( 11 )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	366 人	1 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	除籍(1人)
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	567 人	14 人	令和元年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(1人)
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、転学(1人)、家業相続(1人)、除籍(2人)、その他(2人)
			令和4年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、就職(2人)、経済的困窮(1人)、病气療養(1人)
令和5年度	661 人	18 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	5 人	0 人	勉強意欲喪失(1名)、就職(2名)、その他(1名)、除籍(1名)
			令和4年度	7 人	0 人	勉強意欲喪失(1名)、経済的理由(1名)、除籍(5名)
			令和5年度	6 人	0 人	他大学受験・進学(2名)、就職(1名)、その他(1名)、転学部(1名)、除籍(1名)
令和6年度	795 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		33 人		33 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)  
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。  
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。  
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下( 人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{366} = \boxed{0.27} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{14}{567} = \boxed{2.46} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{18}{661} = \boxed{2.72} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{795} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

< ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 >

(1) - 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	4			9	3	2				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			7	1					
	PBL応用	2前	4			3	2	3				
	PBL応用	2後	4			5	2	1				
	小計(4科目)		16	0	0	9	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			2	1					
	ビジネスモデル	2前	2					1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			1		1				
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング	2後	2			1		1				
	(選択) デザインシンキング	3前		2			1					
	ビジネスモデル実践	3-4前		2				1				
	小計(8科目)		12	4	0	5	2	2	0	0	0	
ビジネス理論・知識	(必修) IT基礎	1前	2				2					
	プレゼンテーション	1後	2					2				
	ビジネス英語基礎	1後	2			1					1	
	フィールドワーク	2前	2			1		1				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2				1					
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2				1					
	アカウンティング	2後	2			1						
	ビジネス英語応用	2後	2			1					1	
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3前	2			1						
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	1					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
	ビジネスライティング	3後	2			2						
	経営戦略	3後	2			1						
	(選択必修) 仕事で使う数学	1-2-3-4後		2								1
	プログラム開発	2-3-4前		2			1					
統計・データ分析	2-3-4後		2								1	
バイオ・農林水産	2-3-4後		2								1	
環境・エネルギー	2-3-4前		2								1	

【令和6年度】(新)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習	3通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	3前	2			8	8	2				
	ビジネスデザイン演習 b	3後	2			8	8	2				
	ビジネスデザイン演習	4通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	4前	2			8	8	2				
	ビジネスデザイン演習 b	4後	2			8	8	2				
小計(4科目)		8			8	8	2					
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			3	2	1				2
	PBL入門	1後	4			2	3	1				2
	PBL応用	2前	4			2	4	0				2
	PBL応用	2後	4			2	4	0				2
	小計(4科目)		16			6	7	1				4
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				1
	問題解決法	2後	2			1	1					
	ロジカルシンキング	2前	2			0	2	0				
	デザインシンキング	1後	2					1				
	倫理・哲学	2	2					1				
	デザインシンキング	3前		2				4				
ビジネスモデル実践	3-4前		0				0					
小計(8科目)		16	0	0	3	5	2	0	0	0	1	
ビジネス理論・知識	(選択) IT基礎	4前	0				0					
	ITリテラシー	1前	2				1					
	プレゼンテーション	1後	0	2		1						1
	ビジネス英語基礎	1後	0	2		1						0
	フィールドワーク	3後	0			0		0				
	マーケティング	2前	0	2		1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	0	2			1					
	起業とファイナンス	2後	0	2		0	1					
	組織デザインと人事管理	2後	0	2			1					
	アカウンティング	2前	0	2		0	1					
	ビジネス英語応用	2後	0	2		1	1					
	グローバルビジネス	3前	0	2		1						
	ビジネスと法	3後	0			0						
	商品企画	3前	0					0				
	ビジネスコミュニケーション	3前	0			0	0					
	ビジネスの社会性	3後	0	2		1						
	プロジェクトマネジメント	3後	0	2		0	1					
	ビジネスライティング	3前	0	2		0	1					
	経営戦略	3前	0	2		1						
	アントレプレナーシップ	3前	2				1					
地域政策論	3後	2				1						
(コース選択(A)) 仕事で使う数学	1前	2									1	
プログラム開発	2-3-4後	2				4						
統計・データ分析	1前	2									1	
バイオ・農林水産	2-3-4後	0									0	
環境・エネルギー	2-3-4後	0									0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	(選択)											
	マーケティング実践	3-4前	2				1					
	アカウント実践	3-4後	2			1						
	小計(25科目)		36	14	0	7	3	3	0	0	5	
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			1						
	食ビジネスB	1後	2			1						
	農ビジネス	1前	2			1						
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2				1					
	健康・スポーツビジネス	1前	2			1						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1						
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						
	ITビジネス	1後	2				1					
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前	2			1						
	ベンチャー企業経営	2前	2				1					
	社会的企業経営	2前	2								1	
	(選択)											
	フードシステム論	2後	2			1						
	店舗マネジメント	2後	2								1	
	高齢者と介護	2後	2								1	
	食文化論	3前	2			1						
	農産物市場論	3前	2			1						
	子どもの暮らしと社会	3前	2								1	
食品産業論	3後	2			1							
健康とスポーツ	3後	2								1		
地域とボランティア	3後	2					1					
小計(20科目)		16	24	0	4	1	2	0	0	兼5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	アプリ開発	1後	2				1					
	データサイエンス入門	1後	2									1
	(コース選択(B))											
	データ収集・分析	2前	2				1					
	プログラミング	2前	2				1					
	マーケティング分析	2後	2				1					
	データサイエンス応用	2秋	2				1					
	プログラム開発	2後	2					1				
	マーケティング実践	3-4前	0							0		
	アカウント実践	3-4後	0						0			
小計(25科目)		0	50	0	5	8	0	0	0	5		
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2	1					
	食ビジネスB	1後	2			4						
	農ビジネス	1前	2			2	1					
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2			1		1			1	
	健康・スポーツビジネス	1前	2			4						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			0		4				
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			0		4				
	ITビジネス	1後	2			1	1	1				
	(コース選択)											
	食ビジネスB	2後	2			2	1					
	健康・スポーツビジネス	2前	2			2	1					
	アパレル・住居ビジネス	2前	2			1		1			1	
	まちづくり・観光ビジネス	2後	2			1		1			1	
	(選択(A))											
	ファミリー企業経営	2前	2			0	1					
	ベンチャー企業経営	3前	2				1	0				
	社会的企業経営	2-3-4前	2									4
	中小企業論	2後	2				1					
	流通業研究	3後	2			1						
(選択(B))												
フードシステム論	2後	2			1							
店舗マネジメント	2-3-4後	2									4	
高齢者と介護	2後	2									1	
食文化論	3前	2			0						2	
農産物市場論	3前	2			0						1	
子どもの暮らしと社会	3-4後	2									4	
食品産業論	3後	2			0						1	
健康とスポーツ	3-4後	2									4	
地域とボランティア	3後	2						1				
都市ビジネス	2前	2				1						
小計(19科目)		8	30	0	6	5	2	0	0	5		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4年		2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4年		2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4年		2								1
	華道・茶道の心	1・2・3・4年		2								2
	映像・メディア	1・2・3・4年		2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4年		2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4年		2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4年		2			1					
	世界の宗教・人権	1・2・3・4年		2								
	小計(9科目)			0	18	0	0	1	0	0	0	0
インターンシップ	インターンシップ	2通	2					1				
	インターンシップ	3通	2					1				
	小計(2科目)		4	0	0	0	0	1	0	0	0	0
小計( )												
合計(70科目)			92	60	0	9	3	3	0	0	0	兼19
卒業要件及び履修方法												
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4年		2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4年		2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4年		2								3
	華道・茶道の心	1・2・3・4年		2								2
	日本を知る	1・2・3・4年		2								1
	映像・メディア	1・2・3・4年		2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4年		2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4年		2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4年		2			1					
	世界の宗教・人権	1・2・3・4年		2	2							1
	大阪を知る	1・2・3・4年		2	2							1
	教養文化特選(調査・企画・支援実務)	2・3・4年		2			1					
	教養文化特選(調査・企画・支援実務)	2・3・4年		2			1					
	教養文化特選(英語ビジネスと介護)	1・2・3・4年		2								1
海外研修	1・2・3・4年		1~4									
国内研修	1・2・3・4年		1~4									
バイオ・農林水産	1・2・3・4年		2								1	
環境とビジネス	1・2・3・4年		2								1	
小計(18科目)			2	32~	0	1	1	0	0	0	0	16
インターンシップ	インターンシップ	2後	2					0				
	インターンシップ	3後	2					0				
	小計(0科目)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学外プロジェクト	学外プロジェクト	2前	2			0	2	1				
	フィールドワーク	3後	2			2	1	0				
	小計(2科目)		4	0	0	2	2	1	0	0	0	0
合計(80科目)			54	112~	0	8	8	2	0	0	0	30
卒業要件及び履修方法												
<p>2コース共通(必修) ビジネスデザイン演習8単位、ビジネスデザイン実践16単位、ビジネスデザイン思考16単位、学外プロジェクト4単位</p> <p>ビジネス創造コース ビジネス理論・知識34単位(【選択】28単位以上、【コース選択(A)】12単位以上、【コース選択(B)】10単位以上)、ドメイン30単位(【必修】8単位、【コース選択】4単位以上、【選択(A)】4単位以上、【選択(B)】8単位以上)、教養・文化16単位</p> <p>情報テクノロジーコース ビジネス理論・知識44単位以上(【選択】28単位以上、【コース選択(A)】4単位以上、【コース選択(B)】6単位以上)、ドメイン20単位以上(【必修】8単位、【コース選択】0単位以上、【選択(A)】4単位以上、【選択(B)】8単位以上)、教養・文化12単位以上</p> <p>上記の単位数を4年(8セメスター)以上在学(休学などによる学修中断の期間はこの在学期間に含まない)し、「学則」及び「履修規程」に従って124単位以上を修得すること。 履修科目の登録の上限:年間48単位(各学期26単位)</p>												

【令和6年度】(旧)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習—3通	3通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	3前	2			6	7	2				
	ビジネスデザイン演習 b	3後	2			6	7	2				
	ビジネスデザイン演習—4通	4通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	4前	2			6	7	2				
	ビジネスデザイン演習 b	4後	2			6	7	2				
	小計(4科目)		8			6	7	2				
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			3	1	1				2
	PBL入門	1後	4			1	3	1				2
	PBL応用	2前	4			1	4	0				2
	PBL応用	2後	4			1	4	0				2
	小計(4科目)		16			4	7	1				4
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				1
	問題解決法	2後	2			1	1					
	ロジカルシンキング	2前	2			0	2	0				
	(選択) デザインシンキング (未開講)	1-2-3-4後	2					1				
	ビジネスモデル実践 (未開講)	3-4前	2					0				
小計(8科目)		12	4	0	3	4	2	0	0		1	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2				1					
	プレゼンテーション	1後	2			1						1
	ビジネス英語基礎	1後	2			1						0
	フィールドワーク	2後	2			2	1					
	マーケティング	2前	2			0	1					
	テクノロジーとイノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2			0	1					
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2			0	1					1
	ビジネス英語応用	2後	2			1	1					0
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2			0						1
	商品企画	3前	2				1	0				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2				0					1
	ビジネスの社会性	3後	2			1						
	プロジェクトマネジメント	3後	2			0	1					
	ビジネスライティング	3前	2			0	1					
	経営戦略	3前	2			1						
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1-2-3-4後	2									1	
プログラム開発	2-3-4前	2				1						
統計・データ分析	2-3-4後	2									1	
バイオ・農林水産	1-2-3-4後	2									1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザイン演習	ビジネスデザイン演習—3通	3通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	3前	2			6	3	3				
	ビジネスデザイン演習 b	3後	2			6	3	3				
	ビジネスデザイン演習—4通	4通	0			0	0	0				
	ビジネスデザイン演習 a	4前	2			4	2					
	ビジネスデザイン演習 b	4後	2			4	2					
	小計(4科目)		8			6	3	3				
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	1	1				1
	PBL入門	1後	4			1	3	1				2
	PBL応用	2前	4			2	0	1				4
	PBL応用	2後	4			2	0	1				4
	小計(4科目)		16			5	3	2				7
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				1
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				1
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング	2前	2			0	2	0				
	(選択) デザインシンキング (未開講)	1-2-3-4後	2					0				
	ビジネスモデル実践 (未開講)	3-4前	2					0				
小計(8科目)		12	4	0	4	2	2	0	0		2	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2					2				
	プレゼンテーション	1後	2						1			1
	ビジネス英語基礎	1後	2					1				0
	フィールドワーク	2後	2			1			0			
	マーケティング	2前	2					1				
	テクノロジーとイノベーション	2前	2					1				
	起業とファイナンス	2後	2					1				
	組織デザインと人事管理	2後	2					1				
	アカウンティング	2前	2									1
	ビジネス英語応用	2後	2					1				0
	グローバルビジネス	3前	2					1				
	ビジネスと法	3後	2					0				1
	商品企画	3前	2						1			
	ビジネスコミュニケーション	3前	2					1	0			
	ビジネスの社会性	3後	2					1				
	プロジェクトマネジメント	3後	2					1				
	ビジネスライティング	3後	2					0	1			
	経営戦略	3前	2					1				
	(選択必修)											
仕事で使う数学	1-2-3-4後	2									1	
プログラム開発	2-3-4前	2						1				
統計・データ分析	2-3-4後	2									1	
バイオ・農林水産	2-3-4後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前		2								1
	マーケティング実践(未開講)	3・4前		2				0				
	アカウンティング実践(未開講)	3・4後		2		0						
	小計(25科目)		36	14	0	5	7	0	0	0		6
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2	1					
	食ビジネスB	1後	2			1						
	農ビジネス	1前	2			2	1					
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2			1		1				1
	健康・スポーツビジネス	1前	2			1						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			0		1				
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			0		1				
	ITビジネス	1後	2				1	1				1
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2後		2		0	1					
	ベンチャー企業経営	2前		2			1	0				
	社会的企業経営	2前		2								1
	(選択)											
	フードシステム論	2後		2			1					
	店舗マネジメント	2後		2								1
	高齢者と介護	2後		2								1
	食文化論	3前		2			0					2
	農産物市場論	3前		2			0					1
	子どもの暮らしと社会	3後		2								1
食品産業論	3後		2			0					1	
健康とスポーツ	3後		2								1	
地域とボランティア	3後		2					1				
小計(20科目)			16	24	0	4	4	2	0	0		9
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前		2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4前		2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4前		2								3
	華道・茶道の心	1・2・3・4前		2								2
	日本を知る	1・2・3・4前		2								1
	映像・メディア	1・2・3・4前		2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4前		2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4前		2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4前		2			1					
	データサイエンス入門	1・2・3・4前		2								1
	世界の宗教・人権	1・2・3・4前		2								1
	大阪を知る	1・2・3・4前		2								1
	教養文化A特選(履修・全期・支援奨励)	2・3・4前		2			1					
	教養文化A特選(履修・全期・支援奨励)	2・3・4後		2			1					
	教養文化B特選(4.5単位履修と介助)	1・2・3・4前		2								1
	海外研修	1・2・3・4前		1~4								
	国内研修	1・2・3・4前		1~4								
小計(17科目)			0	32~	0	1	1	0	0	0		15
インターンシップ	インターンシップ	2後	2				2	1				
	インターンシップ	3後	2				1	0				
	小計(2科目)		4	0	0	0	2	1	0	0	0	0
合計(80科目)			92	74~	0	6	7	2	0	0		33

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー(選択)	2・3・4前		2								1
	マーケティング実践(未開講)	3・4前		2				0				
	アカウンティング実践(未開講)	3・4後		2		0						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0		7
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2		1				
	食ビジネスB	1後	2			3						
	農ビジネス	1前	2			2		1				
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2			1		1				1
	健康・スポーツビジネス	1前	2			2						1
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1		1				1
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			0		2				1
	ITビジネス	1後	2					0	1			2
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2後		2		0	1					
	ベンチャー企業経営	2前		2					1			
	社会的企業経営	2前		2								1
	(選択)											
	フードシステム論	2後		2			1					
	店舗マネジメント	2後		2								1
	高齢者と介護	2後		2								1
	食文化論	3前		2			0					1
	農産物市場論	3前		2			0					1
	子どもの暮らしと社会	3後		2								1
食品産業論	3後		2			0					1	
健康とスポーツ	3後		2								1	
地域とボランティア	3後		2					1				
小計(20科目)			16	24	0	5	1	3	0	0		11
教養・文化	小説・詩・俳句	1・2・3・4前		2								1
	イラスト・絵画	1・2・3・4前		2								1
	将棋・囲碁	1・2・3・4前		2								3
	華道・茶道の心	1・2・3・4前		2								2
	日本を知る	1・2・3・4前		2								1
	映像・メディア	1・2・3・4前		2								1
	演劇・朗読	1・2・3・4前		2								1
	政治・経済のニュース	1・2・3・4前		2								1
	モチベーションとストレスケア	1・2・3・4前		2			1					
	データサイエンス入門	1・2・3・4前		2								1
	世界の宗教・人権	1・2・3・4前		2								1
	大阪を知る	1・2・3・4前		2								1
	教養文化A特選(履修・全期・支援奨励)	2・3・4前		2			1					
	教養文化B特選(4.5単位履修と介助)	1・2・3・4前		2								1
	海外研修	1・2・3・4前		1~4								
	国内研修	1・2・3・4前		1~4								
	小計(16科目)			0	30~38	0	1	1	0	0	0	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2				1	1	1			
	インターンシップ	3後	2				2	1	0			
	小計(2科目)		4	0	0	0	3	1	1	0	0	0
合計(79科目)			92	72~78	0	7	3	3	0	0		36

卒業要件及び履修方法

ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))

卒業要件及び履修方法

ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。  
(履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザインビジネス	ビジネスデザイン演習	3通	4			4	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			3	2	0				
	小計(2科目)		8	0	0	4	2	0	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			2	3	2				
	PBL入門	1後	4			2	3	2				
	PBL応用	2前	4			2	0	1			兼4	
	PBL応用	2後	4			2	0	1			兼4	
	小計(4科目)		16	0	0	4	3	3	0	0	兼8	
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	0					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1			兼1	
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1			兼1	
	問題解決法	2後	2			2						
	ロジカルシンキング (選択)	2前	2			0	1	1				
	デザインシンキング	3後		2				0				兼1
	ビジネスモデル実践 (未開講)	3・4前		2				0				
	小計(8科目)		12	4	0	4	1	2	0	0	兼3	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2				2					
	プレゼンテーション	1後	2				1	1				
	ビジネス英語基礎	1後	2			1		1			兼0	
	フィールドワーク	2後	2			1		0				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2				1					
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2				1					
	アカウンティング	2前	2			1						
	ビジネス英語応用	2後	2			1		1			兼0	
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2			0					兼1	
	商品企画	3前	2					1				
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			1						兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
ビジネスライティング	3後	2			0	1						
経営戦略 (選択必修)	3前	2			1							
仕事で使う数学	1・2・3・4前		2								兼1	
プログラム開発	2・3・4前		2			1						
統計・データ分析	2・3・4後		2								兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								兼1	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー (選択)	2・3・4前		2								兼1
	マーケティング実践(未開講)	3・4後		2				0				
	アカウンティング実践(未開講)	3・4後		2		0						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0	兼5	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
デザインビジネス	ビジネスデザイン演習	3通	4			3	2	0				
	ビジネスデザイン演習	4通	4			8	3	3				
	小計(2科目)		8	0	0	8	3	3	0	0		
ビジネスデザイン実践	PBL入門	1前	4			4	2	2				
	PBL入門	1後	4			5	1	3				
	PBL応用	2前	4			2	1	1				
	PBL応用	2後	4			2	2	0				
	小計(4科目)		16	0	0	6	3	3	0	0		
ビジネスデザイン思考	ビジネス基礎	1前	2			1	1					
	ビジネスリーダーシップ	1前	2			1	0	1				
	ビジネスモデル	2前	2					1				
	ビジネスモデル演習	2後	2			0		1				
	問題解決法	2後	2			1						
	ロジカルシンキング (選択)	2前	2			0	1	0				
	デザインシンキング	3後		2				0				兼1
	ビジネスモデル実践	3・4前		2					1			
	小計(8科目)		12	4	0	3	2	2	0	0	兼1	
ビジネス理論・知識	(必修)											
	IT基礎	1前	2				2					
	プレゼンテーション	1後	2				1		1			
	ビジネス英語基礎	1後	2			1		1			兼0	
	フィールドワーク	2後	2			1		0				
	マーケティング	2前	2			1						
	テクノロジーとイノベーション	2前	2				1					
	起業とファイナンス	2後	2			1						
	組織デザインと人事管理	2後	2				1					
	アカウンティング	2前	2			1						
	ビジネス英語応用	2後	2			0						兼1
	グローバルビジネス	3前	2			1						
	ビジネスと法	3後	2									兼1
	商品企画	3前	2						1			
	ビジネスコミュニケーション	3前	2			1	0					
	ビジネスの社会性	3後	2			0						兼1
	プロジェクトマネジメント	3後	2			1						
ビジネスライティング	3後	2			0	1						
経営戦略 (選択必修)	3前	2			1							
仕事で使う数学	1・2・3・4前		2								兼1	
プログラム開発	2・3・4前		2			1						
統計・データ分析	2・3・4後		2								兼1	
バイオ・農林水産	2・3・4後		2								兼1	
ビジネス理論・知識	環境・エネルギー (選択)	2・3・4前		2								兼1
	マーケティング実践	3・4後		2		1		0				
	アカウンティング実践	3・4後		2		1						
	小計(25科目)		36	14	0	6	3	2	0	0	兼7	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2			2						兼1
	食ビジネスB	1後	2			2						兼1
	農ビジネス	1前	2			2		1				
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2						2			兼1
	健康・スポーツビジネス	1前	2			3						
	アパレル・住居ビジネス	1後	2			1	1	1				
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2			1						兼2
	ITビジネス	1後	2			1	0	1				兼1
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前		2		1						
	ベンチャー企業経営	2前		2				1				
	社会的企業経営	2前		2								兼1
	(選択)											
	フードシステム論	2後		2		1						
	店舗マネジメント	2後		2								兼1
	高齢者と介護	2後		2								兼1
	食文化論	3前		2		0						兼1
	農産物市場論	3前		2		0						兼1
子どもの暮らしと社会	3後		2								兼1	
食品産業論	3後		2		0						兼1	
健康とスポーツ	3後		2								兼1	
地域とボランティア	3後		2					1				
小計(20科目)		16	24	0	4	1	3	0	0		兼14	
教養・文化	小説・詩・俳句	1-2-3-4後		2								兼1
	イラスト・絵画	1-2-3-4後		2								兼1
	将棋・囲碁	1-2-3-4後		2								兼2
	華道・茶道の心	1-2-3-4後		2								兼2
	日本を知る	1後		2								兼1
	映像・メディア	1-2-3-4後		2								兼1
	演劇・朗読	1-2-3-4後		2								兼1
	政治・経済のニュース	1-2-3-4後		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1-2-3-4後		2			1					
	データサイエンス入門	1前		2								兼1
	世界の宗教・人権	1-2-3-4後		2								兼1
小計(11科目)		0	22	0	0	1	0	0	0		兼12	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2			1	1	1				
	インターンシップ	3後	2			2	1	0				
	小計(2科目)		4	0	0	3	2	1	0	0	0	
合計(72科目)		92	64	0	7	3	3	0	0		兼29	
卒業要件及び履修方法												
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
ドメイン	(必修)											
	食ビジネスA	1前	2					1				
	食ビジネスB	1後	2					1				
	農ビジネス	1前	2					1				
	福祉・医療・教育ビジネス	1前	2							1		
	健康・スポーツビジネス	1前	2					1				
	アパレル・住居ビジネス	1後	2					0		1		
	まちづくり・観光ビジネス	1後	2					1				
	ITビジネス	1後	2					1	0			
	(選択必修)											
	ファミリー企業経営	2前		2		1						
	ベンチャー企業経営	2前		2						1		
	社会的企業経営	2前		2								兼1
	(選択)											
	フードシステム論	2後		2		1						
	店舗マネジメント	2後		2								兼1
	高齢者と介護	2後		2								兼1
	食文化論	3前		2		0						兼1
	農産物市場論	3前		2		0						兼1
子どもの暮らしと社会	3後		2								兼1	
食品産業論	3後		2		0						兼1	
健康とスポーツ	3後		2								兼1	
地域とボランティア	3後		2						1			
小計(20科目)		16	24	0	4	0	3	0	0		兼7	
教養・文化	小説・詩・俳句	1-2-3-4後		2								兼1
	イラスト・絵画	1-2-3-4後		2								兼1
	将棋・囲碁	1-2-3-4後		2								兼2
	華道・茶道の心	1-2-3-4後		2								兼2
	日本を知る	1後		2								兼1
	映像・メディア	1-2-3-4後		2								兼1
	演劇・朗読	1-2-3-4後		2								兼1
	政治・経済のニュース	1-2-3-4後		2								兼1
	モチベーションとストレスケア	1-2-3-4後		2				1				
	データサイエンス入門	1前		2								兼1
	世界の宗教・人権	1-2-3-4後		2								兼1
小計(11科目)		0	22	0	0	1	0	0	0		兼12	
インターンシップ	インターンシップ	2後	2				1	0				
	インターンシップ	3後	2					1	0			
	小計(2科目)		4	0	0	1	1	0	0	0	0	
合計(72科目)		92	64	0	7	3	3	0	0		兼27	
卒業要件及び履修方法												
<p>ビジネスデザイン演習8単位(必修)、ビジネスデザイン実践16単位(必修)、ビジネスデザイン思考のうち、1、2年次に履修する12単位(必修)、ビジネス理論・知識のうち36単位(必修)、「仕事で使う数学」「プログラム開発」「統計・データ分析」「バイオ・農林水産」「環境・エネルギー」の5科目のうちから2科目4単位(選択必修)、ドメインのうち、1年次に履修する16単位(必修)、2年次春学期に履修する「ファミリー企業経営」「ベンチャー企業経営」「社会的企業経営」の3科目のうちから1科目2単位(選択必修)および2年次秋学期以降に履修するドメインから10単位以上(選択)、教養・文化16単位以上(選択)、インターンシップ4単位(必修)を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限(年間):1年次および4年次:40単位、2年次および3年次:44単位(全学年、可能な限り時間割固定))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【 】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。(例:記載順)【認可時又は届出時】 【令和6年度】(新) 【令和5年度】(新) 【令和4年度】 【令和3年度】 【令和6年度】(旧) 【令和5

(1) - 授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授5・准教授1・講師3」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・准教授2」に変更。
- ・担当教員の未就任により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「問題解決法」の教員の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスの社会性」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「マーケティング実践」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「デザインシンキング」「フィールドワーク」「ビジネスと法」「マーケティング実践」「子どもの暮らしと社会」の配当年次を「前期」から「後期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「ロジカルシンキング」「アカウントング」「経営戦略」の配当年次を「後期」から「前期」に変更。
- ・開講期間の見直しにより、「インターンシップ」「インターンシップ」の配当年次を「通年」から「後期」に変更。
- ・教育内容充実のため、「日本を知る」の授業科目を新設。
- ・教育内容充実のため、「データサイエンス入門」の授業科目を新設。

【令和4年度】

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授4・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授3・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授2・准教授3・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師1・兼任講師4」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル演習」の教員の配置を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ロジカルシンキング」の教員の配置を「教授1・講師1」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「デザインシンキング」の教員の配置を「准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員の配置を「講師2」から「准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスと法」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「講師2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授2・准教授1」に変更。

## 【令和5年度】

- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授6・准教授3・講師3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授4・准教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授4・准教授1・講師1・兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授1・准教授3・講師1・兼任講師1・兼任教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師1・兼任講師3、兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ロジカルシンキング」の教員を「教授1・講師1」から「准教授2」に変更。
- ・「ロジカルシンキング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員を「講師2」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
- ・「フィールドワーク」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「アカウンティング」の教員を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・「アカウンティング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語応用」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「ビジネスと法」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスコミュニケーション」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスライティング」の教員の配置を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「経営戦略」の配当年度を「3後」から「3前」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師2・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「講師1・兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「ファミリー企業経営」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「ファミリー企業経営」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「子どもの暮らしと社会」の配当年度を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・新規科目として、「日本を知る」「大阪を知る」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化B特講(ヘルスケアビジネスと介護)」を追加。

## 【令和6年度】(新)

### <科目区分> ビジネスデザイン演習

- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授8・准教授8・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授8・准教授8・講師2」に変更。

### <科目区分> ビジネスデザイン実践

- ・担当教員変更により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授3・准教授2・講師1・兼任教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授2・准教授3・講師1・兼任教授2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授2・講師4・兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授2・講師4・兼任講師2」に変更。

### <科目区分> ビジネスデザイン思考

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「問題解決法」の教員を「教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ロジカルシンキング」の教員を「教授1・講師1」から「准教授2」に変更。
- ・「ロジカルシンキング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・「デザインシンキング」の配当年次を「3前」から「1後」に変更し必修科目とした。
- ・カリキュラム改訂により「ビジネスモデル実践」を廃止し、「倫理・哲学」を新設。

### <科目区分> ビジネス理論・知識

- ・「IT基礎」は科目名を「ITリテラシー」へ変更し、担当教員変更により、「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員を「講師2」から「教授1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「起業とファイナンス」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アカウンティング」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「アカウンティング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネス英語応用」の教員を「教授1・兼任講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「ビジネスと法」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「プロジェクトマネジメント」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスライティング」の教員を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「ビジネスライティング」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「経営戦略」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・カリキュラム改訂により「ビジネスと法」「商品企画」「ビジネスコミュニケーション」「マーケティング実践」「アカウンティング実践」を廃止し、「アントレプレナーシップ」「地域政策論」「アプリ開発」「データ収集・分析」「プログラミング」「マーケティング分析」「データサイエンス応用」を新設。また、(選択)においては配当年次に必履修とした。

### <科目区分> ドメイン

- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「健康・スポーツビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。配当年次を「1後」から「2前」へ変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスB」の教員の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。配当年次を「1後」から「2後」へ変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。配当年次を「1後」から「2前」へ変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。配当年次を「1後」から「2後」へ変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ファミリー企業経営」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員昇任により、「ベンチャー企業経営」の教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・カリキュラム改訂により、「子どもの暮らしと社会」、「社会的企業経営」、「店舗マネジメント」、「健康とスポーツ」を廃止し、「中小企業論」、「流通業研究」、「都市ビジネス」を新設。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。

### <科目区分> 教養・文化

- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師3」に変更。
- ・新規科目として、「日本を知る」「大阪を知る」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化B特講(ヘルスケアビジネスと介護)」「海外研修」「国内研修」「環境とビジネス」を追加。
- ・「バイオ・農林水産」は科目区分ビジネス理論・知識から教養・文化へ変更。

### <科目区分> 学外プロジェクト(インターンシップから変更)

- ・カリキュラム改訂により「インターンシップ」「インターンシップ」を統合し、「学外プロジェクト」へ変更。
- ・「フィールドワーク」は科目区分ビジネス理論・知識から学外プロジェクトへ変更し、適正なクラス数の配置により、「教授1・講師1」から「教授2・准教授1」へ変更。配当年次を「2前」から「3後」に変更。

【令和6年度】(旧)

＜科目区分＞ビジネスデザイン演習

- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・単位分割のため、「ビジネスデザイン演習」を廃止し、「ビジネスデザイン演習 a」と「ビジネスデザイン演習 b」を新規追加。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」の教員の配置を「教授9・准教授3・講師2」から「教授6・准教授7・講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」の教員の配置を「教授8・准教授3・講師3」から「教授6・准教授7・講師2」に変更。

＜科目区分＞ビジネスデザイン実践

- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授4・准教授2・講師2」から「教授3・准教授1・講師1・兼任教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL入門」の教員の配置を「教授7・准教授1」から「教授1・准教授3・講師1・兼任教授2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授3・准教授2・講師3」から「教授1・講師4・兼任講師2」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「PBL応用」の教員の配置を「教授5・准教授2・講師1」から「教授1・講師4・兼任講師2」に変更。

＜科目区分＞ビジネスデザイン思考

- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス基礎」の教員の配置を「教授1・准教授1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスリーダーシップ」の教員の配置を「教授2・准教授1」から「教授1・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネスモデル」の教員の配置を「講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスモデル演習」の教員を「教授1・講師1」から「講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「問題解決法」の教員を「教授2」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ロジカルシンキング」の教員を「教授1・講師1」から「准教授2」に変更。
- ・「ロジカルシンキング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・「デザインシンキング」の配当年次を「3前」から「1・2・3・4後」に変更。

＜科目区分＞ビジネスデザイン理論・知識

- ・担当教員変更により、「IT基礎」の教員を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プレゼンテーション」の教員を「講師2」から「教授1・兼任講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ビジネス英語基礎」の教員の配置を「教授1・兼任講師1」から「教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールドワーク」の教員の配置を「教授1・講師1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・「フィールドワーク」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員変更により、「マーケティング」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「起業とファイナンス」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アカウンティング」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「アカウンティング」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネス英語応用」の教員を「教授1・兼任講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスと法」の教員を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「ビジネスと法」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員昇任により、「商品企画」の教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスコミュニケーション」の教員を「教授1・准教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「プロジェクトマネジメント」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ビジネスライティング」の教員を「教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「ビジネスライティング」の配当年次を「3後」から「3前」に変更。
- ・「経営戦略」の配当年度を「3後」から「3前」に変更。

＜科目区分＞ドメイン

- ・適正なクラス数の配置により、「食ビジネスA」の教員の配置を「教授1」から「教授2・講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「農ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「教授2・准教授1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「福祉・医療・教育ビジネス」の教員の配置を「講師1」から「教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アパレル・住居ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「まちづくり・観光ビジネス」の教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「ITビジネス」の教員の配置を「准教授1」から「准教授1・講師1・兼任講師1」に変更。
- ・担当教員変更により、「ファミリー企業経営」の教員を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・「ファミリー企業経営」の配当年度を「2前」から「2後」に変更。
- ・担当教員昇任により、「ベンチャー企業経営」の教員を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「食文化論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師2」に変更。
- ・担当教員変更により、「農産物市場論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。
- ・「子どもの暮らしと社会」の配当年度を「3前」から「3後」に変更。
- ・担当教員変更により、「食品産業論」の教員の配置を「教授1」から「兼任講師1」に変更。

＜科目区分＞教養・文化

- ・適正なクラス数の配置により、「将棋・囲碁」の教員の配置を「兼任講師1」から「兼任講師3」に変更。
- ・新規科目として、「日本を知る」「データサイエンス入門」「大阪を知る」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化A特講(調査・企画・支援実践)」「教養文化B特講(ヘルスケアビジネスと介護)」「海外研修」「国内研修」を追加。

＜科目区分＞インターンシップ

- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「准教授2・講師1」に変更。
- ・「インターンシップ」の配当年次を「2通」から「2後」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターンシップ」の教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・「インターンシップ」の配当年次を「3通」から「3後」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
  - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	30 科目	科目	70 科目	23 科目 [ 17 ]	57 科目 [ 27 ]	0 科目 [ ]	80 科目 [ 10 ]	【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修40科目、選択30科目、自由0科目、 計70科目 変更状況：必修42科目、選択38科目、自由0科目、 計80科目

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ビジネスデザイン演習	4	3		必修	単位分割のため、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」を新設。
2	ビジネスデザイン演習	4	4		必修	単位分割のため、「ビジネスデザイン演習 a」「ビジネスデザイン演習 b」を新設。
3	IT基礎	2	1		必修	カリキュラム改定により、名称を「ITリテラシー」に変更。
4	ビジネスと法	2	3		必修	カリキュラム改訂。読替科目として「地域政策論」を新設
5	商品企画	2	3		必修	カリキュラム改訂。読替科目として「アントレプレナーシップ」を新設
6	店舗マネジメント	2	3		選択	カリキュラム改訂。読替科目として「中小企業論」を新設
7	ビジネスコミュニケーション	2	3		必修	カリキュラム改訂。読替科目として「流通業研究」を新設
8	子どもの暮らしと社会	2	3		選択	カリキュラム改訂。読替科目として「都市ビジネス」を新設
9	環境・エネルギー	2	1		選択	カリキュラム改定により、名称を「環境とビジネス」に変更。
10	社会的企業経営	2	2		選択	カリキュラム改訂。
11	健康とスポーツ	2	3		選択	カリキュラム改訂。「健康・スポーツビジネス」へ統合
12	インターンシップ	2	2		必修	カリキュラム改定により、名称を「学外プロジェクト」に変更。
13	インターンシップ	2	3		必修	カリキュラム改定により、名称を「学外プロジェクト」に統合。

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
  - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

通期科目である「ビジネスデザイン演習」、「ビジネスデザイン演習」を、学生への成績評価とそのフィードバックを効率よく実施するため、それぞれ半期科目に分割した。  
2コース（ビジネス創造コース、情報テクノロジーコース）のカリキュラムへ改訂をおこない、より専門的な知識と実践力を磨けるものへと変わった。  
学生への周知は、授業管理システムを通じて、履修登録時に在学生全員へ連絡。廃止する科目については学習機会を担保するため、廃止予定時期についてあらかじめ告知をした。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{13}{70} = \boxed{18.57} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考		
(1)	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 < 共用する他の学校 > 岡山学院高等学校（収容定数2,280名）基準面積（運動場として）8,400㎡（中学校との共用可）		
	校舎敷地	86,302㎡ <del>85,862㎡</del>		1,155.30㎡	13,699.7㎡		101,157㎡ <del>100,747㎡</del>	
運動場用地	84,176㎡	0㎡		11,540㎡	95,716㎡			
小計	170,478㎡ <del>170,038㎡</del>		1,155.30㎡	25,239.7㎡	196,873㎡ <del>196,433㎡</del>			
その他	13,962㎡ <del>14,405㎡</del> 14,402㎡ <del>14,405㎡</del>		0㎡	0㎡	13,962㎡ <del>14,405㎡</del> 14,402㎡ <del>14,405㎡</del>			
合計	184,440㎡ <del>184,443㎡</del> 184,440㎡ <del>184,443㎡</del>		1,155.30㎡	25,239.7㎡	210,835㎡ <del>210,838㎡</del> 210,838㎡ <del>210,838㎡</del>			
(2) 校舎	専用					大学全体		
	共用	71,117.2㎡ <del>61,828.5㎡</del> 62,842.2㎡ <del>61,915.4㎡</del>	0㎡	0㎡	71,117.2㎡ <del>61,828.5㎡</del> 62,842.2㎡ <del>61,915.4㎡</del>	岡山学院教育大学との統合に伴うリノベーション工事および和泉キャンパス新校舎建設のため。 (5) 新校舎完成まで敷地として賃借していたビルが令和4年12月まで契約終了したため(5) 新校舎完成まで敷地として賃借していたビルが令和2年12月まで契約終了することになったが、継続して賃借することになったため。また、建築基準法による面積から登記簿面積としたため。(3)		
(3) 教室等	講義室	77室 76室 74室	51室	8室	9室 (補助職員 7人 6人)	2室 (補助職員 0人)		
	演習室							
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室数			
		ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科			16室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書)	学術雑誌 (うち外国書)	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	ビジネスデザイン学部	733,367 [232,955] <del>741,431 [232,607]</del> 741,226 [232,221] 738,565 [231,341] 738,266 [231,341]	7,362 [2,296] <del>7,326 [2,292]</del> 7,398 [2,289] 7,846 [2,289] 7,856 [2,294]	26,840 [26,838] <del>4,909 [4,907]</del> 4,842 [4,838] 4,635 [4,634] 4,636 [4,634]	39,455 <del>99,924</del> 99,931 98,818 99,814	17,551 <del>47,444</del> 47,314 46,870 45,339		
	計	(733,367 [232,955]) <del>(741,431 [232,607])</del> (741,226 [232,221]) <del>(738,565 [231,341])</del> (738,266 [231,341])	(7,362 [2,296]) <del>(7,326 [2,292])</del> (7,398 [2,289]) <del>(7,846 [2,289])</del> (7,856 [2,294])	(26,840 [26,838]) <del>(4,909 [4,907])</del> (4,842 [4,838]) <del>(4,635 [4,634])</del> (4,636 [4,634])	(39,455) <del>(99,924)</del> (99,931) <del>(98,818)</del> (99,814)	(17,551) <del>(47,444)</del> (47,314) <del>(46,870)</del> (45,339)	(1)	
	計	(733,367 [232,955]) <del>(741,431 [232,607])</del> (741,226 [232,221]) <del>(738,565 [231,341])</del> (738,266 [231,341])	(7,362 [2,296]) <del>(7,326 [2,292])</del> (7,398 [2,289]) <del>(7,846 [2,289])</del> (7,856 [2,294])	(26,840 [26,838]) <del>(4,909 [4,907])</del> (4,842 [4,838]) <del>(4,635 [4,634])</del> (4,636 [4,634])	(39,455) <del>(99,924)</del> (99,931) <del>(98,818)</del> (99,814)	(17,551) <del>(47,444)</del> (47,314) <del>(46,870)</del> (45,339)	(1)	1学部単位での特定不能のため、大学全体
(6) 図書館	面積	8,673㎡		676席 728席 737席 724席	886,389			
	閲覧座席数							
(7) 体育館	面積	11,966.42㎡		テニスコート		和弓場、洋弓場		
	収納可能冊数							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費：大学全体
	教員1人当り研究費等	495千円	495千円	図書購入費	7,037千円	7,037千円	7,037千円	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。
	共同研究費等	9,584千円	9,584千円	設備購入費	80,555千円	18,690千円	18,690千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,259千円 1,199千円	第2年次 1,029千円 969千円	第3年次 1,029千円 969千円	第4年次 1,029千円 969千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	令和5(2023)年度入学者よりビジネスデザイン学部の学費を他学部の学費と同額に改定。
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、雑収入等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	桃山学院大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
国際教養学部											
英語・国際文化学科	4	275	-	1,100	学士(国際教養学)	0.93	-	-	平成20	大阪府和泉市まなび野1-1	
社会学部											
社会学科	4	260	-	1,040	学士(社会学)	1.08	1.05	-	昭和41	大阪府和泉市まなび野1-1	
ソーシャルデザイン学科	4	100	-	400	学士(社会福祉学)	0.96	-	-	平成10	同上	令和4年度学科名称変更
法学部											
法律学科	4	200	-	800	学士(法学)	1.05	1.00	-	平成14	大阪府和泉市まなび野1-1	
経済学部											
経済学科	4	360	-	1,440	学士(経済学)	1.05	1.02	-	昭和34	大阪府和泉市まなび野1-1	
経営学部											
経営学科	4	295	-	1,180	学士(経営学)	1.08	1.05	令和3	昭和48	大阪府和泉市まなび野1-1	平成31年度入学定員変更(55) 令和3年度入学定員変更(70)
ビジネスデザイン学部											
ビジネスデザイン学科	4	200	-	800	学士(ビジネスデザイン)	0.99	-	令和3	令和3	大阪府大阪市阿倍野区堀和町3-1-07	学部の設置(届出) 令和2年度末経営学部 ビジネスデザイン学科(入学定員70)を 廃止し、同時に同学科在籍者全員を ビジネスデザイン学部へ転学部。 変更後令和6年度入学定員詳細下記。 1年次:200 2年次:200 3年次:200 4年次:200 (経営学部ビジネスデザイン学科より り転学部)
大学全体	4	1,690	-	6,760		-	-	-	-	-	

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあつては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。  
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。  
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。  
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。  
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。  
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。  
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)」.33収容定員の充足状況」をご確認ください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。  
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。  
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時  (令和2年)	運動場及び体育館が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。	【認可】 遵守事項  本学部のカリキュラムには体育は含まれておらず教育への支障はない。また授業は基本的に5限目（終了時刻17時50分）までで編成されており、学生は和泉キャンパスで行われる課外活動にも参加可能である。課外活動の情報は、学生生活全般のガイドブック「Campus Guide」で案内しているほか、オフィスに担当者も配置し相談・サポート体制を整えている。また、サークル活動等の情報提供を強化するため、専用の掲示板を設置した。	履行済
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

**【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「(5)(6)」と記載してください。

**【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(6)」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### < ビジネスデザイン学部 ビジネスデザイン学科 >

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

##### 実施体制

##### a 委員会の設置状況

桃山学院大学に、全学ファカルティ・ディベロップメント(教育活動の質的向上・発展に関して組織的かつ恒常的に行う活動をいう。以下「FD」という。)推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第1条)

委員会は、学部・研究科および学内諸組織が行うFDを支援するとともに、全学的かつ恒常的にFDの検討を行い、その質的充実を図ることを目的とする。

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第2条)

##### b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

委員長は副学長が務め、委員は各学部教授会と共通教育機構から選出された教員(各1名)、その他委員長が認めた者により構成され、月1回程度実施している。

##### c 委員会の審議事項等

1. 教育活動の質的向上に向けた施策の検討と推進
2. 学生の学習能力の育成、学習支援に関わる施策の検討と推進
3. 講演会および研修会等の企画立案
4. 学部・研究科および学内諸組織が行うFDに対する支援
5. 他大学等のFDに関する資料、セミナー等の情報の収集と学内諸組織への提供
6. 各年度における本学FDの総括的把握と検討
7. その他FDの推進に必要な事項

(全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第5条)

##### 実施状況

##### a 実施内容

- ・ 授業評価アンケートの実施
- ・ SA・TA制度の運用
- ・ 全学FD研修会の開催
- ・ FD NEWSの発行 他

##### b 実施方法

授業評価アンケートは、各学期に実施期間を決め、対象科目の授業時間内に実施している。

本学部では、既設の学部とキャンパスや教育課程が異なるので別途アンケートを作成し調査を行っている。

また、本学部ではLA(ラーニングアシスタント)制度を一部科目で運用している。LA学生は授業前後に担当教員と当日の授業においてあるべきゴール、スタイルのイメージや、その実現に向けての要望を伝え、話し合うようしている。

また学期期間中には、学部会議を原則毎週実施しており、授業上の工夫などについて情報交換を行っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

授業アンケートは、全科目で専任・兼任問わず各学期実施している。

LA学生については、特に本学部の中心科目であるPBL科目について、毎週授業後に全体ミーティングを実施し、担当教員全員とLA全員が参加して、振り返りと次週の授業についての打ち合わせを行うなどし、授業の質向上を図っている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に、本学部所属の教員全員で共有している。またアンケート結果を共有し、FD活動をおこなっている。各教員が授業で工夫している点等について報告をおこない、その報告に対して質疑応答を実施し、各教員が授業改善に取り組んでいる。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期実施

2023年度実施期間 春学期：2023（令和5）年7月18日（火）～ 7月28日（金）

秋学期：2024（令和6）年1月16日（火）～ 1月30日（火）

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学部では、アンケートの結果を学部会議において授業の進捗や学生情報等と共に本学部所属の教員全員で共有している。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

ビジネスデザイン学部ビジネスデザイン学科は、経営学部ビジネスデザイン学科を基礎としながら、次に記載する人材の育成が求められていると認識し、「ビジネスデザインの理論と実際について研究、教授し、国際社会に活躍し得る人材の育成」を教育目標および人材養成の目的とし、2021（令和3）年4月に設置された。

・「Society 5.0」を牽引するために必要となる幅広い知識・技能、思考力・判断力・表現力および高度なコミュニケーション力を備え、新たなビジネスを創造することにより社会課題を解決できる人材

教育課程については教育内容の充実を図るために、一部授業科目を新設し、移行期を除く授業科目についてはすべて開講・実施している。教員組織については教授1名の未就任があったものの、その他の教員（教授・准教授・講師・兼任や兼任）を配置し、概ね計画通り段階的に編成・維持している。実践、実技、実習科目においては、複数の実務家教員を配置し、70を超える企業・行政・団体の企業人と共に学ぶ問題解決型学習（PBL）を実践している。入学者選抜は計画どおり実施し、2021（令和3）年度入学者は221名、2022（令和4）年度入学者は202名、2023年（令和5）年度入学者は173名、2024（令和6）年度入学者は217名であった。施設・設備等については、当初の予定通りあべのキャンパス（大阪市阿倍野区昭和町3-1-57）で授業を実施している。

以上のことから、現時点において一部教員組織の計画変更があったものの、達成状況は概ね良好である。

##### 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・2022（令和4）年4月19日 公表済

###### b 公表方法

・大学Webサイト上に公表済 <https://www.andrew.ac.jp/info/accredited.html>

##### 認証評価を受ける計画

・令和3年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2029（令和11）年3月31日までとする。」との結果を受けた。次回は、令和10年度に受審することを予定している。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

aで「有」の場合

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他( ) ]

aで公表「無」の場合

d 公表しない理由 [ ]

設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。